

自衛隊を戦場に送るな

イラクで日本人外交官2人が犠牲になる痛ましい出来事がおきました。ところが政府は自衛隊をイラクに派兵しようとしています。しかし、イラク国民が望んでいるのは、米軍占領支援のための自衛隊の派兵でなく、イラクの主権回復、国連主導のものの復興・人道支援です。

人道支援に役立たない派兵

人道支援をすすめる日本のNGOは「日の丸」をはずしました。自衛隊が米軍を支援するため、日本のNGOも誤解されて危険なためです。日本政府のイラク戦争支持や自衛隊派兵表明は、すでに人道支援の障害になっているのです。「私たちは外国軍のイラク占領を終わらせたいのに、自衛隊が新たな部隊を派遣するとは、驚きだ」(アラブ連盟のムーサ事務局長)というのが、アラブ世界の声です。

大義なき戦争と占領がテロを拡散させている

小泉首相は「テロの脅しに屈するな」といって、自衛隊の派兵を強行しようとしています。とんでもありません。無法な戦争と軍事占領こそ、テロ勢力に絶好の口実を与えているのです。無法な戦争とテロの悪循環を断ち切らなければなりません。



国民多数が反対しているのに 派兵するのでしょうか

自衛隊イラク派兵に反対が72.6%(フジテレビ調査)。日弁連会長や日本ペンクラブも反対を表明しています。国民が反対しているのに、「軍隊」を海外に派兵する - 平和憲法を持つ国でこんな無茶苦茶なことは、許せません。

“ブッシュ大統領は人類の脅威” —ロンドン市長が批判—

11月17日、訪英を前にして「ブッシュ大統領は地球上の生命に対する最大の脅威」「彼の政策は人類を絶滅に導く」ときびしく批判しました。

日本人外交官2人の犠牲になるな

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|